

3 4	受験番号シール貼付欄

## 第 2 問 答案用紙<1> (会 計 学)

### 問題 1

#### 問 1

ア	4,356 百万円	イ	8,496 百万円	ウ	3,668 百万円	エ	13,954 百万円
オ	5,122 百万円	カ	1,153 百万円				

#### 問 2

キ	66 日	ク	69 日	ケ	72 日
---	------	---	------	---	------

#### 問 3

##### 設問 1

増減日数	3 日	<u>増加する</u>	減少する	(いずれかを○で囲むこと)
------	-----	-------------	------	---------------

##### 設問 2

理 由	手形割引入金額が財務収支の収入欄に記載されているから。
-----	-----------------------------

##### 設問 3

手形の割引を借り入れによる資金調達と同様に財務活動と考えているから。
------------------------------------

#### 問 4

意 義	企業の一会計期間におけるキャッシュ・フローの状況を一定の活動区分別に表示するものであり、B/SやP/Lと同様に企業活動全体を対象とする重要な情報を提供することにある。
目 的	一会計期間におけるキャッシュフローの状況を報告するため。
理 由	財務活動のキャッシュ・フローの区分に記載した場合、企業の資金獲得能力を判断する上で重要な営業活動によるキャッシュ・フローに関する情報が明確に表示されないため。

4 4	受験番号シール貼付欄

## 第 2 問 答案用紙<2> (会 計 学)

### 問題 2

#### 問 1

(1)

ア	イ	ウ
100,000	200,000	40,607,500
エ	オ	カ
43,125,000	53,125,000	32,360,000

(2)

本問のように各製品で1回あたりの活動が消費する所要時間が異なる場合には、活動時間を活動ドライバーとして用いて各製品に活動原価を配賦すべきであり、活動回数を活動ドライバーとして用いると各製品に集計される活動原価が不正確となる。

#### 問 2

(1)

部品Nの採否	採用する	採用しない	(いずれかを○で囲むこと)
--------	------	-------	---------------

(2)

意思決定の根拠となる説明

部品Nへの切り替えによる直接材料費の増加は、5,000,000円であるのに対し、活動原価の減少が総額で9,190,000円となり、その結果、原価が4,190,000円減少するためである。

#### 問 3

キ	ク	ケ	コ
顧客 $\alpha$ $\beta$ $\gamma$	改善案 ① 2	顧客 $\alpha$ $\beta$ $\gamma$	改善案 1 ②

評点